マツゲン箕島 零封勝ち

第4代表決定T きょう2回戦

都市対抗野球

近畿2次予選

第95回都市対抗野球大会近畿地区2次予選（日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催）は29日、京都市のわかさスタジアム京都で第4代表決定トーナメント1回戦2試合があった。マツゲン箕島（有田市）は3―0で県警桃太郎（兵庫県三田市）に零封勝ち。YBSホールディングス（兵庫県赤穂市・姫路市）もOBC高島（滋賀県高島市）との接戦を3―0で制した。負けた2チームは予選敗退となった。30日は同球場で、日本製鉄瀬戸内（兵庫県姫路市）―日本生命（大阪市）の第1代表決定戦が午後6時から行われるほか、第4代表決定トーナメント2回戦2試合がある。

【来住哲司、山口敬人、中田博維】

▽第4代表決定トーナメント1回戦

県警桃太郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マツゲン箕島	1	0	2	0	0	0	0	0	0	X	3

（県）蓑茂、湯浅、今津―太田（マ）川畑、森山―藤田幸

▽二塁打　竹中2（マ）

マツゲン箕島が継投で零封した。一回に竹中の右越え適時二塁打で先制し、三回は白滝の左前適時打と富田の中犠飛で2点追加。先発・川畑は粘り強い投球で7回を抑え、森山が締めた。県警桃太郎は七回までに5度の好機を逃す拙攻だった。

連続二塁打放つ

○…マツゲン箕島の4番・竹中夢翔が右翼への連続二塁打でチームを勢いづけた。2死一塁で迎えた一回は先制打。1死一塁で巡ってきた三回は二、三塁へとチャンスを広げる一打で次打者の白滝恵汰の適時打につなげ、「チャンスで打てて良かった」と笑顔で振り返った。新人だった昨年から4番を任されているが「昨年はいけいけドンドンだった。今年は自分が打たないといけない」と2年目で責任感も出てきており、「大会前から調子が上がってきた。長打が打てるし足も速い」と西川忠宏監督の期待も大きい。負けられない試合が続くが、「自分が打てばチームも乗っていける」と今後の活躍を誓っていた。

【県警桃太郎―マツゲン箕島】一回裏マツゲン箕島2死一塁、竹中が右越えに先制二塁打を放つ＝京都市のわかさスタジアム京都で